

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子ども

# 干布小学校だより

4月号 H27.4.18

天童市立干布小学校

校長 江川久美子

## 「挑戦」と「思いやり」を合い言葉に

平成27年度スタート！

木々の新芽のように意欲もふくらみ、平成27年度の干布小学校は、児童数129名、職員15名でスタートしました。昨年度は、子ども自身の努力とご家庭・地域の方々のご協力のおかげで一人一人の子どもに確かな育ちがありました。今年度も教育目標を「心豊かに たくましく伸びていく子ども」として、なお一層思いやり深い子ども、心身ともにたくましい子どもをめざしてまいります。

今年度は特に「挑戦」と「思いやり」を教育活動の合い言葉にして、子どもも職員も共に伸びていこうと思います。どうぞ、ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。

### 始業式での校長の話より

干布小学校がさらにいい学校になるために、みなさんのいいところに自信をもってまた共に前に進んでいきましょう。そこで今年度も二つのことをみなさんと約束したいと思います。

一つ目は、みんなのいいところ「自分の殻を破って進める」ところを生かして、「挑戦」する生活をしていこうということです。できること・できたことに立ち止まっていないで、自分から進んで次のことをやってみる・新しいことをやってみるのです。そのためには、どんな自分になりたいか目標をもつことが必要です。目標がはっきりすると、毎日の授業の中で、今までよりもっと考えてみる、もっと書いてみる、恥ずかしがらずに質問をする、学級や児童会の活動で、新しい考えで取り組んでみる、考えたことは進んで発言したり、行動したりする...というように、一日一日が、一時間一時間の授業が、挑戦の連続になります。そして、だんだん新しい自分になっていきます。

二つ目は、「思いやりをもってつながる」ことのできるみなさんに、「思いやり」の心をさらに磨いてほしいということです。それはどういうことかという、自分から進んで相手の気持ちを考えて行動するということです。また、自分と違うな、少し苦手かなという人とも相手の気持ちを考えて正しくかわること、まわりに大人がいない時も、自分で相手のことを考えた正しい行動をとろうとすることです。

このように、思いやりの心を見がくことに挑戦していきましょう。思いやりは行動に表れます。一番最初に見えるのはあいさつですね。

思いやりの心がたくさんある学級・学校は挑戦がたくさんできるのです。逆も言えます。挑戦ができる学級・学校と言うのは思いやりの心にあふれているのです。

今年度、「挑戦」と「思いやり」で先生方もみなさんと一緒に成長していきます。力を合わせて進んでいきましょう。

### 職員紹介

校長 江川久美子

教頭 松田 洋

東根市立神町小より

教務主任 深瀬 実

荒谷小より

養護教諭 佐藤 美和

神奈川県立学校より

主査 川合恵美子

なかよし 高橋 淳子

1年担任 堀川るり子

2年担任 武田 美紀

3年担任 今田 裕浩

4年担任 村形 奈央

横浜市立小学校より

5年担任 瀬野 淳

6年担任 高野 知美

技能主査 菖蒲 修

市生活環境課より

図書整理 寺島ゆかり

給食業務 皆川 貴子

## 教育目標 心豊かに たくましく伸びていく子ども

**めざす子どもの姿** 自ら学び、自ら考える子ども  
思いやりをもち、つながりを深める子ども  
生命を大切にする子ども  
ふるさとを愛する子ども

挑戦

思いやり

### 経営の重点

#### 重点1 自ら学び、自ら考える子ども

- (1) 課題を明確にした考え続ける授業づくり
- (2) 生活や行事に生きて働く関連性をもたせた学習

考えることをはっきりさせて、見通しをもつ・自分で考える・仲間と考えることを大事にします。学んだことが、活用できるように指導計画を工夫します。

#### 重点2 思いやりをもち、つながりを深める子ども

- (1) 生徒指導の充実
  - ・深い子ども理解に基づく学級経営
  - ・ねらいと評価が明確な児童会活動
- (2) 特別支援教育の充実
  - ・個別の配慮を計画的に実践
  - ・職員同士の連携、家庭とのきめ細かな連携
- (3) 道徳教育の推進
  - ・年間35時間の道徳の時間の確実な実施

子どもと教師、子ども同士の信頼関係づくりをすすめます。一人一人の違いやよさを認め、思いやりのある生活ができるようにしていきます。共生社会を生きる子どもたちです。特別支援教育へのご理解をお願いします。

#### 重点3 生命を大切にする子ども

- (1) 健康教育の充実
  - ・自ら体力向上に取り組む態度の育成
  - ・基本的生活習慣形成の取組の工夫
- (2) 安全教育の充実
  - ・判断力育成をめざした避難訓練
  - ・情報モラルの育成
- (3) 読書活動の推進
  - ・国語の読書単元の重視
  - ・PTAとの連携

体育行事を生かし、目標をもって主体的に体力づくりができるようにします。インターネットの正しい使い方を学び、判断力を養います。読書は習慣づけたいと思います。親子読書も考えています。

#### 重点4 ふるさとを愛する子ども

- (1) 保護者との連携
  - ・保護者との積極的な信頼関係づくり
- (2) 地域との連携
  - ・ねらいと教科等の関連を明確にした体験活動と言語活動
  - ・おらほの学校づくり委員会との連携
- (3) 地域教材による単元開発
  - ・年度当初からの仕掛け、組み込み
  - ・これまでの実践の活用、深化

学年通信には、指導の意図、子どもの育ちを載せていきます。学校へもご感想をお寄せください。

各種体験活動は、学習なので、必ず「書く活動(手紙・振り返り等)」を組み込んでいきます。